

夜間に用いられる 側彎矯正装具の症例報告

宮部 昌洋、川村 慶、
増成 基之、若松 貴憲、廣田 英敏
〔川村義肢株式会社〕

側彎症に対しての装具療法は、昼夜装着（フルタイム）が一般的とされている。しかしながら側彎症の患者は思春期の女子が大半を占めており、肉体的、精神的ストレスおよび外観が気になるなど装具療法を敬遠する人がいるのも現状である。

そこで、これらのことを考慮し、我々は患者に受け入れられやすい側彎矯正装具の夜間装着（パートタイム）を試み、その評価を行っている。

口演では、その臨床例および装具の紹介、製作方法について報告する。